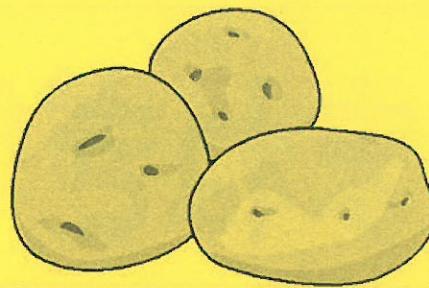


新じゃがいも



新じゃがいもについて

3~5月に市場に登場する新じゃがいもは旬ならではの香りと味わいが、薄い皮と身の間に詰まっています。新じゃがいもと普通のじゃがいもは品種が違います。芽が出るのが早く、日に当てる表面が緑に変色して肉質が堅くなるので早めに食べ、皮は厚めにむくようにしましょう。選ぶポイントは、皮が少し湿っていて、みずみずしいもので指で皮がむけそうなものを。



じゃがいもをレンジで簡単料理！

じゃがいもを洗って、包丁で一周切れ目をいれて十字になるようにもう一周切れ目をいれる。水気のついたまま、ラップで包み、600Wで3~4分加熱し、冷ましてから皮をむく。

じゃがいものきんぴら煮(1人分:エネルギー125kcal 塩分0.6g)

材料(2人分)

豚もも肉	40g
にんじん	35g
ごぼう	20g
干しいたけ	2g
糸こんにゃく	20g
じゃがいも	120g
いんげん	10g
ごま油	小さじ1弱
A 砂糖	小さじ1
醤油	小さじ1.5弱
みりん	小さじ1/3
だし汁	60cc

- ① にんじん、ごぼう、戻したしいたけは細切りか千切りにする。
- ② 糸こんにゃくは3cm位に切り、下茹でておく。
- ③ じゃがいもは太めの拍子木切りにし、水洗いしておく。
- ④ いんげんは3cm位の長さに切る。
- ⑤ 鍋にごま油を熱し、豚肉、にんじん、ごぼう、しいたけを炒める。
- ⑥ こんにゃく、じゃがいもを加えてさらに炒める。
- ⑦ じゃがいもの表面に火が通ったら、だし汁を加えて煮る。
- ⑧ じゃがいもに火が通ったら、調味料A・いんげんも加え煮る。

栄養

普通のじゃがいもよりビタミンB1、ビタミンC、カリウム、ナイアシンが多く含まれます。特にビタミンCはレモンに匹敵する含有量です。本来ビタミンCは火と水に弱いのですが、じゃがいものビタミンCはでんぶんに守られているので失われません。ビタミンCは肌にもよくコラーゲンの生成も助けてくれるだけでなく、血管や神経に対しても効果的な働きをします。ビタミンB1はごはんの3倍含まれます。

じゃがいももち

(1人分:エネルギー146kcal 塩分1.4g)

材料(2人分)

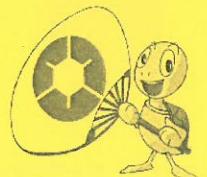
じゃがいも	150g
片栗粉	大さじ1.5
牛乳	大さじ1
バター	10g
A ソース	大さじ1
A 砂糖	小さじ2
みりん	小さじ1

- ① 洗ったじゃがいもをラップにくるみ、お皿にのせて600Wで3~4分レンジで加熱する。楊枝をさしてスープと通ったら、熱いうちに皮をむく。
- ② 热いうちにじゃがいもをつぶし、片栗粉と牛乳を加え、手でこねてまとめる。
- ③ 水をつけた手で②を一口大に丸め押しつぶして形を整える。
- ④ フライパンにバターを入れて中火で熱し③を並べ、こがさないようフライパンを振りながら両面に焼き目をつける。
- ⑤ Aを合わせた調味料を入れ、タレをからめる。(焦がさないように)

「毎食野菜を食べよう」キャッチフレーズ大賞作品

毎食の 料理に入れよう

旬野菜



マスコットキャラクター
元亀(げんき)くん